



障害者スポーツ

編集・発行

特定非営利活動法人栃木県障害者スポーツ協会

URL:<https://syospo-tochigi.org/>

〒320-8508 宇都宮市若草1丁目10番6号

とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター内

TEL.028(624)2761(FAX兼用)

発行人 麦倉仁巳

令和4(2022)年度 第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一會とちぎ大会」 栃木県強化指定選手任命式

令和4(2022)年4月17日(日) 宇都宮市文化会館 大ホール



令和4年4月17日（日）、宇都宮市文化会館大ホールにて第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一會とちぎ大会」栃木県強化指定選手の任命式を開催し、個人競技100名・団体競技164名の総勢264名を強化指定選手として任命しました。

強化指定選手制度は、本年10月に本県で開催される第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一會とちぎ大会」に向け、選手の競技力及び取組意欲の向上を目的として令和元年度より発足した制度で、県障害者スポーツ大会等において優秀な成績を収めた選手を強化指定選手（アスリートゴールドリーダー）として任命しています。今年度は、アスリートゴールドリーダーの中でも特に「いちご一會とちぎ大会」で好成績が見込まれ、かつリーダーシップに優れた選手26名を「アスリートプラチナリーダー」として任命しました。

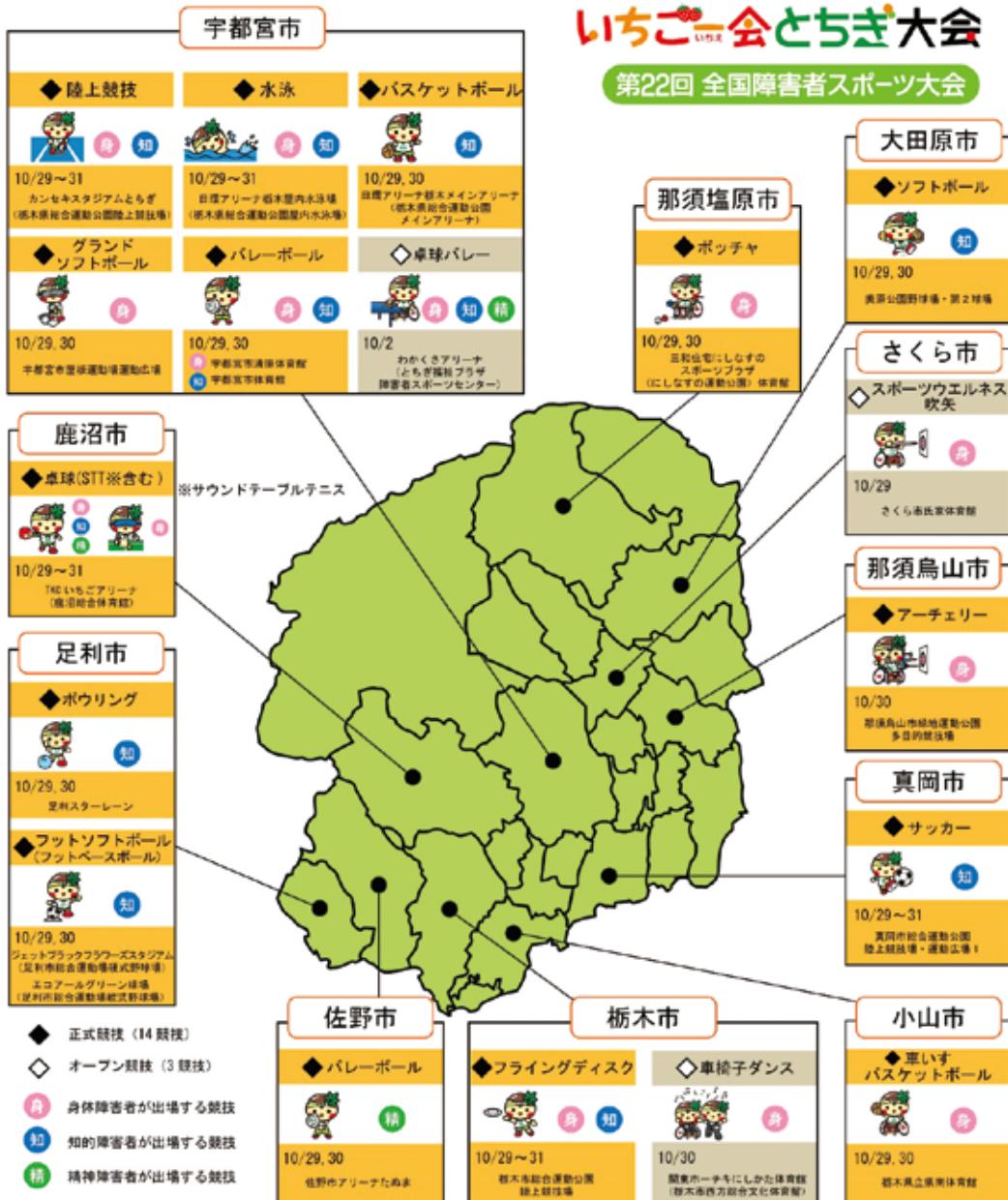
○個人競技（100名）

陸上競技41名、水泳14名、アーチェリー2名、卓球14名（うちSTT1名）、フライングディスク16名、ボウリング9名、ボッチャ4名

○団体競技（164名）

バスケットボール<知的>（男子15名、女子12名）、車いすバスケットボール<身体>12名、バレーボール<身体>（男子10名、女子9名）、バレーボール<知的>（男子12名、女子12名）、バレーボール<精神>10名、サッカー<知的>21名、ソフトボール<知的>18名、フットソフトボール（旧名称：フットベースボール）<知的>17名、グランドソフトボール<身体>16名

いちごー会とちぎ大会 会場マップ



いちごー会とちぎ大会



~やつてみよう !! ~

- 問1 いちごー会とちぎ大会は、第何回全国障害者スポーツ大会でしょうか？
 ①20回 ②21回 ③22回 ④23回
- 問2 開催期間は、令和4(2022)年10月何日～何日まででしょうか？
 ①8日～10日 ②15日～17日 ③22日～24日 ④29日～31日
- 問3 いちごー会とちぎ大会のスローガンは、どれででしょうか？
 ①広げよう 感動。伝えよう 感謝。 ②翔べ 羽ばたけ そして未来へ ③夢を感動へ。感動を未来へ。
- 問4 三重とこわか大会から正式競技になった競技は何ででしょうか？
 ①卓球バレー ②ボッチャ ③車椅子ダンス ④スポーツウェルネス吹矢
- 問5 18年振りにリニューアルした栃木県選手団ユニフォームの素材に使われているのは何でしょうか？
 ①ペットボトル ②古着 ③木材 ④ダンボール
- 問6 正式競技は、個人競技、団体競技合わせて、何競技実施するでしょうか？
 ①13 ②14 ③15 ④16
- 問7 第1回全国障害者スポーツ大会が開催された県はどこでしょうか？
 ①秋田県 ②宮崎県 ③埼玉県 ④宮城県



答えは、8ページに
のってるよ！

令和3(2021)年度障害者スポーツ選手等育成・強化事業報告

(1) 個人競技裾野拡大事業

<ボウリング体験会>



ボウリング教室を全3回 (11/13、11/28、12/19) 実施しました。参加者からは、とても楽しかったとの感想がありました。今年度の教室をきっかけに、競技を続けてくれることを期待しています。



1回目 わかくさアリーナ
参加者 20名



2回目 宇都宮第二トーヨーボウル
参加者 15名



3回目 足利スターレーン
参加者 9名

(2) 栃木県強化指定選手育成事業

<個人競技>

陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球(STT含む)、フライングディスク、ボッチャ、ボウリングの7競技について、定期的に強化練習会を実施しました。

<団体競技>

バスケットボール (知的・男女)、車いすバスケットボール (肢体不自由)、ソフトボール (知的)、グランドソフトボール (視覚)、バレーボール (聴覚・男女、知的・男女、精神)、サッカー (知的)、フットベースボール (知的) 7競技について、定期的に強化練習会を実施しました。

(3) 特別支援学校等スポーツ活動支援事業

特別支援学校、特別支援学級及び普通学級に在籍する障害のある児童、生徒のスポーツに対する興味・関心を高めることを目的に、卓球バレーの体験会を実施しました。

	期 日	会 場	結果	参加者数
第1回	12月8日(水)	栃木県立那須特別支援学校	実施	17名
第2回	12月16日(木)	栃木県立足利特別支援学校	実施	12名
第3回	1月12日(水)	栃木県立のざわ特別支援学校 (中等部)	実施	16名
第4回	1月14日(金)	栃木県立のざわ特別支援学校 (高等部)	中止	—
第5回	1月18日(火)	栃木県立足利中央特別支援学校	実施	18名
第6回	1月21日(金)	栃木県立栃木特別支援学校	中止	—
第7回	1月26日(水)	栃木県立岡本特別支援学校	中止	—
第8回	2月8日(火)	栃木県立今市特別支援学校	中止	—
第9回	2月15日(火)	宇都宮大学共同教育学部附属特別支援学校	中止	—



第17回栃木県障害者スポーツ大会代替競技会を開催しました!!

第17回栃木県障害者スポーツ大会は、新型コロナウイルスの影響のため、中止になりました。栃木県障害者スポーツ大会は新型コロナウイルスの影響と天候不順のため、残念ながら4年連続で開催できませんでした。

このため栃木県は、選手が今まで練習で培ってきた成果を発揮する場として、第17回栃木県障害者スポーツ大会に申込みのあった方を対象に代替競技会を開催しました。

今回の代替競技会は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施しました。選手、競技役員、ボランティア、関係者の皆様にはご協力をいただき、ありがとうございました。選手の真剣に試合に挑んでいる姿、消毒作業の感染症対策等に取り組んでいる競技役員・ボランティアの姿はとても印象的でした。今年は、本県で第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」が開催されます。全国から選手が集まり、熱戦が繰り広げられます。新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、ぜひ、会場まで足を運んで応援してください。

《競技別報告》

アーチェリー

期日：令和3(2021)年11月7日(日)
会場：宇都宮市みずほの中央公園アーチェリー場
主管：栃木県アーチェリー協会
・競技種目
リカーブ(50m・30m、30m・30m)、
コンパウンド(50m・30m、30m・30m)
・参加者 6名



水泳

期日：令和3(2021)年11月21日(日)
会場：栃木県総合運動公園
日環アリーナ栃木 屋内水泳場
主管：栃木県水泳連盟
・競技種目
自由形、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ
・参加者 34名



陸上競技

期日：令和3(2021)年11月23日(火・祝)
会場：カンセキスタジアムとちぎ
(栃木県総合運動公園陸上競技場)
主管：一般財団法人栃木陸上競技協会
・競技種目
100m、200m(車いす競技者のみ)、400m、
800m、立幅跳、砲丸投
・参加者 172名



フライングディスク

期日：令和3(2021)年12月5日(日)
会場：栃木県総合運動公園第2陸上競技場
主管：栃木県障害者フライングディスク協会
・競技種目
アキュラシー(ディスリート5、ディスリート7)、
ディスタンス
・参加者 96名



ボッチャ

期日：令和3(2021)年12月12日(日)
会場：とちぎ福祉プラザ 障害者スポーツセンター
主管：栃木県ボッチャ協会
・競技種目
ボッチャ
・参加者 9名



卓球・サウンドテーブルテニス

期日：令和3(2021)年12月25日(土)
会場：とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター
主管：栃木県卓球連盟
・競技種目
一般卓球、サウンドテーブルテニス
・参加者 59名



第17回栃木県障害者スポーツ大会代替競技会の様子



令和3(2021)年度 栃木県障がい者スポーツ指導員(初級)養成講習会

令和3年11月20日(土)、11月27日(土)、12月11日(土)、12月18日(土)の4日間にわたり、とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター(愛称:わかくさアリーナ)にて、初級障がい者スポーツ指導員養成講習会を開催し、45名の方々が講習会の全課程を修了しました。講習会は、障がい者へのスポーツ指導に意欲を持つ方に対して、スポーツ指導に必要な理論及び技術等の講習を行い、専門的な知識を身につけた指導者を養成し、地域における障害者スポーツの振興や参加機会の拡充を図ることを目的として開催しました。講義では、各障がい(身体、知的、精神)の理解や、障害者スポーツの指導上の留意点と工夫について学び、実技の科目では、車いすバスケットボールや卓球バレー等を体験しました。受講者からは「障害者スポーツを体験できて良かった。」「講習会で学んだことを活動の中で生かしたい。」などの感想が寄せられました。講習会をきっかけに、今後、皆さん地域でご活躍されることを期待しています。



車いすバスケットボール(実技)の様子



講義の様子



卓球バレー(実技)の様子

令和3(2021)年度 栃木県障がい者スポーツ指導者スキルアップ研修会

令和3年12月4日(土)、とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター(愛称:わかくさアリーナ)において、「栃木県障がい者スポーツ指導者スキルアップ研修会」を開催し、37名の方々が受講しました。本研修会は、障がいの種類と程度に応じた支援を行う上で必須事項である「障がい特性の理解」と「スポーツ支援上の留意点」について専門的な知識を学び、今後の指導・支援の実践の場に活かすことを目的として開催しました。研修会は、専門の講師を招き、講義と実技を行いました。「全国障害者スポーツ大会実施競技体験(陸上競技)」では、競技の動画を見ながら、競技特性や留意点を学び、実技では、全国障害者スポーツ大会陸上競技正式種目「スラローム」「音源走」の競技体験を中心に行い、指導者の役割と審判の方法をそれぞれの視点で学びました。受講者からは「毎年、研修会を開催して欲しい。」「障害区分について大変参考になった。」などの感想が寄せられました。障害者スポーツの振興に意欲的な方ばかりで、大変有意義な研修会となりました。



講義:競技規則と障害区分について

講師:常見 恭子 氏

所属:埼玉県総合リハビリテーションセンター



講義・実技:全国障害者スポーツ大会 実施競技体験(陸上競技種目)

講師:藤田 勝敏 氏

所属:(公財)東京都障害者スポーツ協会



櫻井 康生 氏 令和3(2021)年度(公財)日本パラスポーツ協会功労章を受賞！



長年にわたり本県の障害者スポーツの普及・発展に多大な貢献を果たしたことから、櫻井 康生氏が(公財)日本パラスポーツ協会より障害者スポーツの発展に功績のあった方に贈られる『(公財)日本パラスポーツ協会功労章』を受賞しました。

このたびの受賞、心よりお祝い申し上げます。

櫻井 康生 氏 プロフィール

平成9(1997)年度に障がい者スポーツ指導員資格を取得。現在は、栃木県障害者スポーツ指導者協議会顧問、栃木県障害者フライングディスク協会副会長として活躍している。

全国知的障害者スポーツ大会では、第1回大会(平成4年度・東京都)、第3回大会(平成6年度・群馬県)、第5回大会(平成8年度・北海道)に、栃木県選手団役員(フライングディスク担当)として帯同し、選手の活躍を支えている。

栃木県障害者スポーツ大会では、第1回大会(平成17年度)から毎年フライングディスクの競技役員として、競技運営を支えている。平成19年度からは、本協会の「障がい者スポーツ指導員養成講習会」で講師を務めるなど、指導者の養成にも深く関わっている。平成24年度には、栃木県障害者スポーツ功労賞を受賞。平成28年に栃木県障害者フライングディスク協会の副会長に就任。

現在は、令和4(2022)年の第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一會とちぎ大会」に向け、栃木県強化指定選手の指導に尽力している。

令和3(2021)年度(特非)栃木県障害者スポーツ協会顕彰受賞者

(特非)栃木県障害者スポーツ協会顕彰式が、令和4年3月27日(日)にとちぎ福祉プラザ特別会議室で行われました。国内外の大会で好成績を収めた4名に優秀選手賞、障害者スポーツ競技の指導や普及に尽力した1団体・3名に障害者スポーツ功労賞を授与しました。(敬称略)

【障害者スポーツ功労賞】

- 栃木県障がい者スポーツ指導者協議会
- 石井 省子((特非)スペシャルオリンピックス日本・栃木 卓球コーチ)
- 星野 幸彦(栃木県視覚障害者福祉協会卓球部 部長)
- 小林 光二(東京2020パラリンピック競技大会陸上競技男子5000m視覚障害者T11クラス唐澤剣也選手のガイドランナー)

【優秀選手賞】

- 高枠 義伸(東京2020パラリンピック競技大会 車いすバスケットボール男子 銀メダル)
- 大谷 桃子(東京2020パラリンピック競技大会 車いすテニス女子ダブルス 銅メダル)
- 真田 卓(東京2020パラリンピック競技大会 車いすテニス男子ダブルス 4位)
- 大島 茄巳琉(バーレーン2021アジアユースパラ競技大会 水泳男子100m背泳ぎ 金メダル)

上左から新村一男事務局長(障ス協)、石井省子、櫻井康生、小林光二、下左から星野幸彦、郡司原之、麦倉仁巳会長(障ス協)、篠崎岳彦課長(県障害福祉課)、高枠義伸



令和3(2021)年度に中止となった行事

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、残念ながら下記行事が中止となりました。

- ・第21回全国障害者スポーツ大会(三重大会)
- ・第13回栃木県障害者コントロール・アタック大会
- ・第17回栃木県障害者スポーツ大会
- ・第3回栃木県ボッチャ教室
- ・令和3年(2021)年度とちぎ障害者スポーツ推進フォーラム

国体・障スポ 栃木県選手団ユニフォームがリニューアル！

県選手団のユニフォームは、本県のいちご生産量が50年連続日本一であることにちなんで赤をベースに、栃木県の形をモチーフにしたデザインです。また、「環境に配慮した いちご一會とちぎ国体・とちぎ大会」推進宣言で掲げた、県内産業の技術力「メイド・イン・とちぎ」の積極活用の取組として、世界で初めてペットボトルからペットボトルを再生する技術を開発した県内企業の技術力を生かし、ペットボトルから再生した繊維を採用しています。

わかくさアリーナに展示していますので、ぜひ見に来てください。



- ①ペットボトルを水洗いし、ラベルやキャップも外す
↓
②粉碎してフレーク状にする
↓
③フレークから糸に加工する
↓
④糸から布を織りあげてユニフォームにする

北京2022冬季パラリンピック競技大会の参加者紹介

渡瀬 由葉さん(栃木県出身)は、クロスカントリースキー/バイアスロンの競技で、日本代表選手団のトレーナーとして帯同し、選手の活躍を支えました。

栃木県障がい者スポーツ指導員（初級）講習会 受講者募集！

【期日予定】令和4（2022）年11月19日（土）、11月26日（土）、12月10日（土）、12月17日（土）

【会 場】とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター

【受講資格】本県在中・在勤（在学）の18歳以上の方

【定 員】40名（定員を超えた場合は抽選とします。）

【申込方法】所定の申込書にて、郵送・FAX・メールで当協会までお申込みください。

※申込書は、申込期間中、当協会ホームページからダウンロードできます。

【申込期間】令和4（2022）年9月6日（火）～10月4日（火）

【必要経費】参加費5,000円（受講料1,500円、テキスト代3,500円）

※新型コロナウィルス感染症の感染状況によっては、変更が生じる場合もあります。

詳しくは、ホームページをご確認ください。

栃木県障害者スポーツ協会賛助会員募集のお知らせ

当協会は障害者スポーツ大会の開催及び選手強化のほか、障害者が身近なところでスポーツやレクリエーションに親しめるように、障害者スポーツ教室の開催、指導者の養成、障害者のスポーツ相談、障害者スポーツの情報提供、スポーツ・レクリエーション用具の貸出等の事業を行っています。

活動の趣旨にご賛同いただける企業、団体、個人の皆様を対象に賛助会員を募集していますので、ご協力をお願いいたします。賛助会員にお申込みいただける方は、事務局までご連絡ください。

個 人 会 員

1□ 3,000円

団 体 会 員

1□ 5,000円

(R3年度末現在 個人会員 55名、団体会員 17団体)

※日身連協力会 福田 正義 様より、令和3年6月に御寄付をいただきました。ありがとうございました。
有効に活用させていただきます。

＜新任職員紹介＞

海老原 道江（令和4年1月採用）

2022年はいちご一會とちぎ大会の年です。早く仕事に慣れ、皆様のお役に立てるよう一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。

安井 亜由美（令和4年4月採用）

障害者スポーツを通して、多くのことを学び、いちご一會とちぎ大会のお力になれるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

『いちご一會とちぎ大会クイズの答え』 問1:③、問2:④、問3:③、問4:②、問5:①、問6:②、問7:④



この機関紙は、赤い羽根共同募金の助成金により発行しています。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。